

平成28年度 高校生ビブリアバトルの実施状況

1 地域大会

県内6地域で地域大会を実施しました。各地域大会で選出されたチャンプ本等は次のとおりとなりました。

(1) 松阪地域

開催日程：平成28年7月29日（金）

開催会場：三重県立松阪工業高等学校

開催結果：チャンプ本

「月のオデッセイ」

（三枝克之 編・翻訳／リトルモア）

ブロックチャンプ本

「神さまのいる書店 まほろばの夏」（三萩 せんや 著／KADOKAWA）

「阪急電車」（有川 浩 著／幻冬舎）

参加数等：参加校数6校 参加者数57人 発表者数12人



(2) 南勢志摩地域

開催日程：平成28年8月4日（木）

開催会場：三重県立伊勢工業高等学校

開催結果：ブロックチャンプ本

「高校入試」（湊 かなえ 著／角川書店）

「新ヤマケイポケットガイド10 きのこ」（小宮山 勝司 著／山と溪谷社）

参加数等：参加校数8校 参加者数55人 発表者数12人



(3) 伊賀地域

開催日程：平成28年8月23日（火）

開催会場：三重県立名張高等学校

開催結果：チャンプ本

「真珠の耳飾りの少女」（トレイシー・シュヴァリエ 著／白水社）

参加数等：参加校数3校 参加者数36人 発表者数4人



(4) 中勢地域

開催日程：平成28年11月13日（日）

開催会場：三重県立図書館

開催結果：チャンプ本

「霊長類ヒト科動物図鑑」（向田 邦子 著／文藝春秋）

ブロックチャンプ本

「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年」（村上 春樹 著／文藝春秋）

「スカー・ティッシュ アンソニー・キーディス自伝」

（アンソニー・キーディス、ラリー・スローマン 著／シンコーミュージック）

参加数等：参加校数9校 参加者数61人 発表者数17人

(5) 北勢地域

開催日程：平成28年11月19日（土）

開催会場：三重県四日市庁舎

開催結果：チャンプ本

「たったひとつの、ねがい。」

（入間 人間 著／アスキーメディアワークス）

ブロックチャンプ本

「コールドゲーム」（萩原 浩 著／新潮社）

「ラヴクラフト全集 1」（H.P.ラヴクラフト 著／東京創元社）

「ドミノ」（恩田 陸 著／角川書店）

「青空の卵」（坂木 司 著／東京創元社）

参加数等：参加校数10校 参加者数96人 発表者数28人

(6) 東紀州地域

開催日程：平成28年11月20日（日）

開催会場：三重県熊野庁舎

開催結果：チャンプ本

「手紙屋」（喜多川 泰 著／Discover）

ブロックチャンプ本

「スーパー・ポジティブ・シンキング」（井上 裕介 著／ヨシモトブックス）

参加数等：参加校数3校 参加者数36人 発表者数12人

(7) 参加した生徒たちから寄せられた声

「新しい本にも出会えたので、とてもいい大会だと思いました」

「読みたい本が見つかりました」

「本と本でみんなと共感することができてよかった」

2 県大会（高校生ビブリオバトル三重決戦2016）

上記の地域大会でチャンプ本等選ばれた高校生が発表者（バトラー）として参加しました。

また、バトラー以外の高校生や一般のみなさんが聴衆として参加しました。

開催日程：平成28年12月11日（日）

開催会場：皇學館大学

開催結果：優勝 紹介本「たったひとつの、ねがい。」

（入間人間 著／アスキーメディアワークス）

紹介者 四日市四郷高等学校 青戸有羽 さん

優秀賞 紹介本「手紙屋」（喜多川泰 著／Discover）

紹介者 尾鷲高等学校 藤原愛子 さん

優秀賞 紹介本「霊長類ヒト科動物図鑑」（向田邦子 著／文藝春秋）

紹介者 津高等学校 下地なつめ さん

参加数等：発表校15校 参加者数120人 発表者数17人

【大会の様子】

予選の様子



3ブロックに分かれて予選を実施しました。

15校17人の高校生たちが読んで面白いと思った本を熱く紹介しました。

決勝の様子



3人の高校生による決勝は聞きごたえ十分です。

講演の様子



ライフネット生命保険(株)代表取締役会長出口治明さんをお迎えした講演会では高校生が積極的に質問！



バトラーの高校生のみなさんと出口会長で記念撮影。撮影後は和やかな会話が弾みました。

3 全国大会

全国高等学校ビブリオバトル2016（活字文化推進会議主催、読売新聞社主催）が平成29年1月8日（日）に東京にて開催されました。三重県大会代表者として、三重県立四日市四郷高等学校青戸有羽さんが、東海大会代表者として、青山高等学校 舟橋令偉さんが出場しました。



「たったひとつの、ねがい。」

を紹介する青戸さん



「世界を信じるためのメソッド」

を紹介する舟橋さん

なお、全国大会の詳しい結果は主催者（活字文化推進会議）のホームページにて紹介されています。